



2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 山口県 】

園名【 光市立やよい幼稚園 】

1 実践テーマ	V
2 実施対象者 (学年・人数)	全園児20名、教諭8名、保護者約20名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 () ③ その他 (楽しい運動遊び) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	○ パラリンピックの競技の一つである『ボッチャ体験』をすることで、新たなスポーツにワクワク感をもって運動あそびに取り組み、関心を高める。 ○ 目が見えないことってどんなこと？耳がきこえないってどんな感じかな？という不思議な気持ちについて、絵本を通して色々な立場の人が助け合って生きていることに気づき、他者への共感や尊重する気持ちを育てる。
5 取組内容	(1) 『ボッチャ』を中心とした運動あそびを効果的に行うための活動 ○ 絵本や万国旗作りを通しての話し合い 『どんなかんじかなあ』(中山 千夏 ぶん・和田 誠 え 自由国民社 出版)の絵本を見たり、運動会時に万国旗作りをしたりすることで、オリンピックやパラリンピックに関心を持ち、障害者(体の不自由な方)について一緒に考える機会をもった。   「どんなかんじかなあ」の絵本をみたよ。 バランスボール、初体験だよ。 (2) 運動あそびの充実 ○ 山口県レクレーション協会の方々を講師に迎え『ボッチャ』を中心に実施した。(計3回実施)

第1回（令和元年10月30日 やよい幼稚園 遊戯室にて）
 ・準備体操のあと、クラスごとにボール遊びを行った。大、中、小のボール遊びをしたり、ポッチャで使用する赤と青の玉を使ってリレーをしたりして楽しんだ。ボールや玉に親しみ、講師の方と仲良しになっていった。

第2回（令和元年11月14日 三井小学校体育館にて）
 ・前半は動物の身体表現やしっぽとりなどを行い、後半は白い玉をめがけて赤と青が投げ合うという簡単なルールで『ポッチャ』体験をした。講師の方の温かい人柄と、わかりやすい説明で、安心して取り組めた。



みんなでしっぽとりをしたね。

ポッチャ、初体験、ワクワク！だね。

第3回（令和2年1月15日 三井小学校体育館にて）
 ・保護者と一緒に身体表現やハルーン遊びをし、後半はクラスごとに親子で『ポッチャ』のミニ試合をした。試合になると「がんばれー」などの子どもたちの声援が飛び、活動が一層盛り上がった。親子のよいふれ合いの場となった。



6 主な成果

- 『ポッチャ』という新しいスポーツに関心をもち、運動あそびに意欲的に取り組む姿勢が見られた。
- 『ポッチャ』がパラリンピックの競技であることから、同じスポーツを共有できたことで障害をもった方に対して、親子で学ぶことができた。
- 事業としての取組を地域の便りに情報発信することで、地域の方にもオリパラ教育に関心をもっていただく機会となった。
- 保護者アンケートより『ポッチャ』にとっても関心を持った…44%・少し関心をもった。…56%で、全く関心をもたない保護者は0%だった。

7 実践において工夫した点（事業の特色）

- オリパラ教育を進める中で、山口県レクリエーション協会の方の指導の下、子どもたちが安心して楽しく取り組める内容になるように配慮した。
- 第1回、第2回は園児のみで行ったが、保護者へも第1回、第2回の取り組みの様子を知らせ、関心をもってもらうことで、第3回は殆どの保護者の参加があり、オリパラへの関心を深める機会となった。

8 主な課題等	○人権教育の中で、様々な立場の人が助け合って生きていくことが大事であり、尊重し合うことの大切さを継続して伝えていく。 ○わくわく感をもって主体的に取り組めるような運動あそびを今後もしっかりと取り入れていく。
9 来年度以降の実施予定	○『ポッチャ』を保護者と一緒に親子参加日で行い、小学校や地域、または市内の幼、保育園へオリパラ教育について発信していきたい。